

令和 5 年度 事業 計画

半田市シルバー人材センターは、昭和 56 年 10 月 1 日に社団法人として設立、平成 24 年 4 月に公益社団法人に移行し、令和 5 年度は 42 年目を迎えます。

発足当時、189 名であった会員数は、平成 14 年度には 668 名となり、順調に増加してきましたが、民間企業の雇用延長などの影響もあり、この年度を境に減少に転じました。しかしながら、令和 2 年度からは増加傾向になり令和 4 年度末現在 538 名となっています。

当センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づいて会員が主体となって運営する組織であり、定年退職者などの高齢者に「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動などの社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献しています。

今後も労働力不足が課題となっている介護・育児の分野や、地域課題を地域の高齢者を活用して解決する取り組みが全国規模で広がると言われており、シルバー人材センターへの期待は、超高齢化社会の進展に伴い、地域の支えとして、働き手として、さらに高まってきています。

令和 2 年 1 月 20 日の第 201 回国会における内閣総理大臣施政方針演説の「一億総活躍社会」においても、「高齢者のうち、八割の方が、六十五歳を超えても働きたいと願っておられます。人生百年時代の到来は、大きなチャンスです。働く意欲のある皆さんに、七十歳までの就業機会を確保します。」「女性も男性も、若者もお年寄りも、障害や難病のある方も、更には一度失敗した方も、誰もが多様性を認め合いその個性を活かすことができる社会、思う存分その能力を発揮できる社会を創る。一億総活躍社会の実現こそが、まさに少子高齢化を克服するカギであります。」と述べられており、高齢者の就業に対する期待は一層大きなものとなっています。

このような状況の中で、当センターの存在意義をさらに高めていくため、令和 2 年 4 月に第 1 次中期計画（令和 2 年度から 6 年度）を策定し、令和 2 年度からこの計画に基づき、会員の拡大や就業機会の拡大等の施策に取り組むこととしました。

しかしながら、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国的に会員数及び就業機会が減少する中で、当センターも同様の状況に追い込まれました。

そんな中でも、「できることから着実に行っていこう」という考えのもと、会員および就業機会の拡大に取り組んできました。その結果、会員数については、令和 4 年度末現在 538 名となり、前年度と比べて 39 名の増となりました。

現状、新型コロナウイルス感染症の収束の時期が見通せない状況ではありますが、政府は、令和 5 年 5 月 8 日に新型コロナウイルスの位置づけを 2 類相当から 5 類に変更することを決定しました。今後は、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動の活発化が期待されます。

このため、第 1 次中期計画（令和 2 年度～6 年度）の 4 年目となる令和 5 年度は、新型コロナウイルスの影響で出遅れた 3 年間の計画を少しでも前に進めるため、次に示す基本施策に積極的に取り組んでまいります。

1 基本施策

- (1) 会員の拡大
- (2) 就業機会の拡大
- (3) 会員の健康管理と安全就業の徹底
- (4) 喫茶「楽」の活性化
- (5) シルバー農園の活性化
- (6) 派遣労働会員のキャリアアップ支援
- (7) 会員交流事業の推進

2 事業の実施内容

(1) 会員の拡大

半田市の65歳以上の人口は年々増加していますが、その一方で、会員数は平成14年度の668名をピークに減少傾向に転じ、令和元年度末の会員数は483人となりました。この主な要因には、年金の支給開始年齢の引上げに加え、雇用機会の確保措置が65歳まで延長されたことなどの影響があります。また、入会したものの自分の希望する就業内容が少ないことや、高齢・病気を理由に退会する人も多くなってきています。

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け全国的に会員数が減少していますが、当センターでは、市報への募集記事の掲載や新聞へのチラシ折込み、センター関係書類へのチラシの同封、地域のイベントでのチラシ配布など、積極的な会員の拡大策を継続したことで、令和4年度末現在の会員数が538名（令和元年度対比で55名の増）となりました。

国は雇用機会の確保措置について70歳まで延長する方針とするなど、会員の拡大はさらに厳しい状況ではありますが、令和5年度も引き続き市報への募集記事の掲載のほか会員募集チラシの新聞への折り込みや高齢者に向けたチラシの配布、高齢者のグループや企業への入会の働きかけなどを行うことで、会員の拡大に努めます。

(2) 就業機会の拡大

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより就業機会が減少しましたが、令和5年度は、令和5年5月8日に新型コロナウイルスの位置づけを2類相当から5類への変更が決定されたこともあり、今後は、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動の活発化が期待されます。

このため、当センターでは、引き続き会員が希望する仕事と地域が期待する仕事を上手く結ぶとともに、国や地方公共団体が高齢者の人材活用を進めようとしている介護予防・生活支援や子供たちへの支援事業、空き家管理事業にも取り組んでいきます。また、市民、企業、各種団体への営業活動を積極的に行うことで派遣事業を推進します。さらに、講習会等を実施し会員の就業能力の向上に努めます。

(3) 会員の健康管理と安全就業の徹底

令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底、夏季の屋外作業時における熱中症や蜂さされ対策など、会員の健康管理の重要性を啓発します。

令和3年度の事故件数は、賠償事故5件、傷害事故1件、交通事故0件の合計6件となり、前年度の3件から増加しましたが、令和4年度は、賠償事故12件、傷害事故3件、交通事故0件の合計15件と大幅に増加しています。

今後も各種の安全就業に関する講習会や職群班会議などの場で「半田市シルバー人材センター安全就業基準」の内容を周知します。また、当センター機関紙（はんだシルバー通信）などを通じて各会員に「安全就業の徹底」を呼びかけることで安全意識の向上を図るとともに、安全パトロールを実施することで事故件数ゼロを目指します。

(4) 喫茶「楽」の活性化

自主事業である喫茶「楽」は、令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、対策の緩和などもあり、利用者は令和3年度と比べ増加しました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴う利用者の増加を期待すると共に、引き続き「安全・安心」なサービスを提供する営業努力と利用者の増加に向けたPRや、他センターの事業を参考にすることにより活性化に努めます。

(5) シルバー農園の活性化

平成29年1月から開始した「シルバー農園」は、6年を経過し畑の土づくりが進んだことで、野菜の収穫量が順調に増加してきています。

令和2年度からは、喫茶「楽」との連携の強化に取り組んでおり、2年度は2品種、3年度は16品種、4年度は15品種の野菜を提供出来たとともに、外部販売ルートをか所開拓することが出来ました。

令和5年度からは、喫茶「楽」との連携をさらに深めることにより、安定して野菜が提供できるよう努めます。また、喫茶「楽」での店頭販売や外部販売を進めることにより、少しでも収益を生み出せるよう努めてまいります。

(6) 派遣労働会員におけるキャリアアップ支援

派遣労働会員に対して、就業に関する相談・面談を行い、派遣就業に必要な技能及び知識を習得できるよう、キャリアアップ支援を継続します。

(7) 会員交流事業の推進

会員交流事業について、令和4年度は、令和2～3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止した「ボウリング大会」を開催するとともに、新たに「川柳コンテスト」を実施しました。令和5年度は、「女性会員お茶会」を再開するとともに、新たな楽しい交流事業を企画してまいります。また、「フォトコンテスト」を継続するほか、ボウリング倶楽部のような会員同士のサークル活動を進めます。